

第2次
燕市男女共同参画推進プラン
推進状況報告書

平成26年度実施状況

平成27年3月

新潟県燕市

事業評価一覧

		基本目標・方針・施策	A	B	C	D	頁
基本目標	1	ともに考える 男女共同参画社会をめざす意識づくり					
方針	1	男女共同参画の理解の推進					
施策	1	男女共同参画の啓発	3	2	0	0	3
施策	2	社会制度・慣行・しきたりの見直しの啓発	3	4	0	0	5
方針	2	男女共同参画の視点に立った教育・学習の推進					
施策	1	幼稚園、保育園、学校などにおける男女平等教育の推進	1	4	0	0	7
施策	2	男女共同参画を理解するための学習機会の提供	3	1	0	0	9
基本目標	2	ともに参画する 男女共同参画の社会づくり					
方針	1	あらゆる分野における政策・方針決定過程への女性参画の推進					
施策	1	市の各種審議会等への女性参画の推進	0	2	0	0	11
施策	2	防災、被災時、災害復興時の女性参画の推進	0	2	0	0	12
施策	3	事業所、各種団体等における女性参画の推進	1	4	0	0	13
方針	2	地域・家庭における男女共同参画の推進					
施策	1	地域における男女共同参画の推進	1	2	0	1	15
施策	2	家庭における男女共同参画の推進	1	4	0	0	17
方針	3	女性の就業環境の整備					
施策	1	農業や自営業における女性の就業環境の整備	1	4	0	0	20
施策	2	職場における女性の就業環境の整備	1	4	0	0	22
施策	3	女性の再就職と継続就業のための支援	1	4	0	0	24
基本目標	3	ともに暮らす 男女共同参画の環境づくり					
方針	1	仕事と家庭生活や地域活動が両立できる環境の整備					
施策	1	男女がともに働きやすい労働環境の整備	1	4	0	0	27
施策	2	多様なライフスタイルに対応した子育て・介護支援の充実	2	7	3	0	29
方針	2	生涯にわたる健康支援					
施策	1	男女への健康支援	10	1	0	1	38
施策	2	性差に応じた健康支援	4	0	0	1	43
方針	3	女性に対するあらゆる暴力の根絶					
施策	1	暴力の根絶に向けた意識啓発	1	1	0	0	46
施策	2	被害者の自立支援対策の推進	2	0	0	0	47
施策	3	相談体制の充実	2	2	0	0	48
計画の総合的な推進							
施策	1	推進体制の整備	1	1	0	0	50
施策	2	市民、事業所、各種団体、関係機関との連携協力	0	2	0	0	51
施策	3	市役所内における男女共同参画の推進	2	5	0	0	52
施策	4	計画の推進状況の調査と公表	0	1	0	0	55

計	【108事業】	41	61	3	3
---	---------	----	----	---	---

※評価について:評価は担当者による自己評価です。「企画・立案」、「実施」、「課題ニーズの把握」、「その他」の4つの項目に分け、どの項目において男女共同参画の視点を取り入れたか、その項目数で評価をしている。4~3はA、2~1はB、事業は行ったが視点を取り入れていない場合はC、事業未実施はD評価としている。

基本目標	1	ともに考える 男女共同参画社会をめざす意識づくり
方針	1	男女共同参画の理解の推進
施策	1	男女共同参画の啓発

事業費:単位 千円

具体的事業	26年度実施状況			次年度計画		担当課						
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費							
1 広報媒体を利用して男女共同参画に関する情報を提供します	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>広報つばめやHPを利用した啓発</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>通年</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>市民</td> </tr> </table> <p>・3ヶ月に1回広報に男女共同参画に関するコラムを掲載。 ・ホームページを利用した情報提供。</p>	事業名	広報つばめやHPを利用した啓発	時期	通年	対象	市民	0	B ・女性の相談窓口やハッピー・パートナー企業など様々な分野に関連した男女共同参画について掲載した。 ・男女共同参画について学ぶ機会として講演会やセミナーの情報を掲載した。	26年度同様	0	地域振興課
事業名	広報つばめやHPを利用した啓発											
時期	通年											
対象	市民											
2 男女共同参画に関する講座や講演会など実施します	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>つばめ「女と男」ふれ愛フェスタ</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>10月13日</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>市民</td> </tr> </table> <p>・市民による実行委員の企画運営で実施した。 ・海原純子先生を講師に講演会を開催。燕・弥彦PTA連絡協議会と共催。 ■参加人数 280人</p>	事業名	つばめ「女と男」ふれ愛フェスタ	時期	10月13日	対象	市民	600	A ・実行委員会では男女が委員になり、フェスタの企画運営を行った。 ・大勢の方が来場しやすいよう休日に開催した。 ・来場者に男女共同参画の意識についてアンケートを行い、男女別に集計した。 ・条例制定に対する意見についてもアンケートを行い、男女別に集計した。	合併10周年を迎える年度であることから従来の内容でいいのかも含め実行委員と企画検討する。	700	地域振興課
事業名	つばめ「女と男」ふれ愛フェスタ											
時期	10月13日											
対象	市民											
2 男女共同参画に関する講座や講演会など実施します	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>地域セミナー健康講座</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>12月、2月</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>市民</td> </tr> </table> <p>・地域セミナーワークライフバランスをテーマに実施。参加者50人（男19人・女31人） ・健康講座女性ホルモンの変化による心と体の変化をテーマに実施。参加者女性20人</p>	事業名	地域セミナー健康講座	時期	12月、2月	対象	市民	65	A ・男女にとって重要であるワーク・ライフ・バランスの推進をテーマに行った。 ・事業所からもワーク・ライフ・バランスに取り組んでもらうためハッピーパートナー企業に案内し担当者等の出席を働きかけた。 ・女性の健康について理解を深めてもらうため女性の心と体の変化をテーマに行った。	防災や介護、ワーク・ライフ・バランス等について開催予定。	100	地域振興課
事業名	地域セミナー健康講座											
時期	12月、2月											
対象	市民											

基本目標	1	ともに考える 男女共同参画社会をめざす意識づくり
方針	1	男女共同参画の理解の推進
施策	1	男女共同参画の啓発

事業費:単位 千円

具体的事業	26年度実施状況			次年度計画		担当課	
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費		
2 男女共同参画に関する講座や講演会など実施します	事業名	つばめ目耕塾 第6回「縁満社会と生きがいづくり～コミュ活のすすめ～」	130	A ・チラシ、ポスターなどを作成したとき、性別による固定的役割分担を表すようなイラストや表現を使用しないように配慮した。 ・男女共同参画の内容を含んだ講座を行った。 ・アンケートにより男女別の感想・要望等を把握している。	男女共同参画における課題やニーズを反映した講座を開催する。	150	社会教育課
	時期	9月9日					
	対象	成人（主に高齢者）					
	<p>「つばめ目耕塾」は、高齢者を主な対象として様々な学習機会を提供し、心豊かな生きがいのある生活となるよう役立ててもらうことを目的に全12回開催。この回では、孤立を防ぎ地域との繋がりを持つため、ボランティアやサークル活動などのコミュニティー活動の必要性をお話しいただいた。</p> <p>■参加人数 52人（男20人・女32人）</p>						
3 各施設を通じて男女共同参画に関する情報を提供します	事業名	情報提供	0	B ・男女共同参画に関連した情報を提供。 ・女性のための総合相談のPRチラシを設置。	26年度同様	0	地域振興課
	時期	通年					
	対象	市民					
	<p>・各庁舎や公共施設にポスターの掲示やチラシの配布を依頼。</p>						

基本目標	1	ともに考える 男女共同参画社会をめざす意識づくり
方針	1	男女共同参画の理解の推進
施策	2	社会制度・慣行・しきたりの見直しの啓発

事業費:単位 千円

具体的事業	26年度実施状況			次年度計画		担当課	
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費		
4 【再掲】 広報媒体を利用して男女共同参画に関する情報を提供します	事業名	広報つばめやHPを利用した啓発	0	B ・女性の相談窓口やハッピー・パートナー企業など様々な分野に関連した男女共同参画について掲載した。 ・男女共同参画について学ぶ機会として講演会やセミナーの情報を掲載した。	26年度同様	0	地域振興課
	時期	通年					
5 【再掲】 男女共同参画に関する講座や講演会など実施します	事業名	つばめ「女と男」ふれ愛フェスタ	600	A ・実行委員会では男女が委員になり、フェスタの企画運営を行った。 ・大勢の方が来場しやすいよう休日に開催した。 ・来場者に男女共同参画の意識についてアンケートを行い、男女別に集計した。 ・条例制定に対する意見についてもアンケートを行い、男女別に集計した。	合併10周年を迎える年度であることから従来の内容でいいのかも含め実行委員と企画検討する。	700	地域振興課
	時期	10月13日					
5 【再掲】 男女共同参画に関する講座や講演会など実施します	事業名	地域セミナー健康講座	65	A ・男女にとって重要であるワーク・ライフ・バランスの推進をテーマに行った。 ・事業所からもワーク・ライフ・バランスに取り組んでもらうためハッピーパートナー企業に案内し担当者等の出席を働きかけた。 ・女性の健康について理解を深めてもらうため女性の心と体の変化をテーマに行った。	防災や介護、ワーク・ライフ・バランス等について開催予定。	100	地域振興課
	時期	12月、2月					

基本目標	1	ともに考える 男女共同参画社会をめざす意識づくり
方針	1	男女共同参画の理解の推進
施策	2	社会制度・慣行・しきたりの見直しの啓発

事業費:単位 千円

具体的事業	26年度実施状況			次年度計画		担当課						
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費							
5 【再掲】男女共同参画に関する講座や講演会など実施します	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>つばめ目耕塾第6回「縁満社会と生きがいづくり～コミュ活のすすめ～」</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>9月9日</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>成人（主に高齢者）</td> </tr> </table> <p>「つばめ目耕塾」は、高齢者を主な対象として様々な学習機会を提供し、心豊かな生きがいのある生活となるよう役立ててもらうことを目的に全12回開催。この回では、孤立を防ぎ地域との繋がりを持つため、ボランティアやサークル活動などのコミュニティー活動の必要性をお話しいただいた。 ■参加人数 52人（男20人・女32人）</p>	事業名	つばめ目耕塾第6回「縁満社会と生きがいづくり～コミュ活のすすめ～」	時期	9月9日	対象	成人（主に高齢者）	130	A ・チラシ、ポスターなどを作成したとき、性別による固定的役割分担を表すようなイラストや表現を使用しないように配慮した。 ・男女共同参画の内容を含んだ講座を行った。 ・アンケートにより男女別の感想・要望等を把握している。	男女共同参画における課題やニーズを反映した講座を開催する。	150	社会教育課
事業名	つばめ目耕塾第6回「縁満社会と生きがいづくり～コミュ活のすすめ～」											
時期	9月9日											
対象	成人（主に高齢者）											
6 【再掲】各施設を通じて男女共同参画に関する情報を提供します	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>情報提供</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>通年</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>市民</td> </tr> </table> <p>・各庁舎や公共施設にポスターの掲示やチラシの配布を依頼。</p>	事業名	情報提供	時期	通年	対象	市民	0	B ・男女共同参画に関連した情報を提供。 ・女性のための総合相談のPRチラシを設置。	26年度同様	0	地域振興課
事業名	情報提供											
時期	通年											
対象	市民											
7 市の刊行物において、男女共同参画の視点を持った表現に努めます	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>刊行物への配慮</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>通年</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>職員</td> </tr> </table> <p>各課において作成する広報、チラシ、ポスター、パンフレット、その他刊行物を作成する際に性別による役割分担意識に配慮しているかどうか留意する。</p>	事業名	刊行物への配慮	時期	通年	対象	職員	0	B ・固定的性別役割分担意識を助長するような表現をしないように配慮した。	26年度同様	0	地域振興課
事業名	刊行物への配慮											
時期	通年											
対象	職員											
8 男女共同参画に関する情報収集や調査を行います	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>アンケート実施</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>10月13日</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>フェスタ来場者</td> </tr> </table> <p>ふれ愛フェスタ来場者に、男女共同参画に関する意識調査を行った。</p>	事業名	アンケート実施	時期	10月13日	対象	フェスタ来場者	0	B ・調査項目を実行委員と検討した。 ・男女共同参画に関する意識調査を行い、男女別に集計した。	26年度同様	0	地域振興課
事業名	アンケート実施											
時期	10月13日											
対象	フェスタ来場者											

基本目標	1	ともに考える 男女共同参画社会をめざす意識づくり
方針	2	男女共同参画の視点に立った教育・学習の推進
施策	1	幼稚園、保育園、学校などにおける男女平等教育の推進

事業費:単位 千円

具体的事業	26年度実施状況			次年度計画		担当課						
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費							
9 生徒児童に対して人権教育や男女平等の性教育等を指導・推進します	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>児童生徒への人権教育等の推進</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>通年</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>児童生徒</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員研修講座の中で人権教育を推進。 ・キャリア教育全体計画の作成。 ・職場体験学習 ・情報交換会の設定 ・性教育計画の立案と授業の実践。 	事業名	児童生徒への人権教育等の推進	時期	通年	対象	児童生徒	0	B ・人権教育の一環として、男女共同参画をひとつの柱としていくことを確認。 ・研修や授業の中で男女共同参画の視点を取り入れた。 ・事業の性格上、男女別のデータ等はとっていない。	・人権教育の推進 ・性教育の実践	0	学校教育課
事業名	児童生徒への人権教育等の推進											
時期	通年											
対象	児童生徒											
10 保護者や教職員等に対して男女共同参画について情報を発信したり、研修を行ったりします	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>男女共同参画にかかる情報発信及び研修</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>通年</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>教職員、保護者</td> </tr> </table> <p>男女共同参画教育に関する情報等を学校たより等により保護者に発信。</p>	事業名	男女共同参画にかかる情報発信及び研修	時期	通年	対象	教職員、保護者	0	B ・校長会、教頭会で男女共同参画について機会を捉えて啓発したり触れたりするよう指導した。 ・各学校で男女共同参画を意識した取組を実施した。 ・事業の性格上、男女別のデータとはとっていない。	男女共同参画教育に関する情報等を学校たより等により保護者に発信。	0	学校教育課
事業名	男女共同参画にかかる情報発信及び研修											
時期	通年											
対象	教職員、保護者											
11 保護者や教職員等が参画しやすい職場・学校環境を整備し、ミドルリーダー（主任クラス）の育成をめざします	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>職場・学校環境の整備とミドルリーダーの育成</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>通年</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>教職員</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・ミドルリーダーの育成 ・参画しやすい職場環境と学校運営の推進 	事業名	職場・学校環境の整備とミドルリーダーの育成	時期	通年	対象	教職員	0	A ・校長会、教頭会で性別による分掌等での役割の固定化がないよう指導した。 ・各学校での役職の把握。 ・学校訪問等で学校の現状の把握に努めた。	・ミドルリーダーの育成 ・参画しやすい職場環境と学校運営の推進	0	学校教育課
事業名	職場・学校環境の整備とミドルリーダーの育成											
時期	通年											
対象	教職員											
12 保育者や保護者へ男女共同参画に関する情報を提供します	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>職員研修</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>随時</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>職員（保育士）</td> </tr> </table> <p>研修に参加することにより、性別にとらわれることなく、個性を大切にした保育のあり方を学び、保育運営にかかっている。</p>	事業名	職員研修	時期	随時	対象	職員（保育士）	0	B 個性を大切にした保育園運営に取り組んでいる。	男女共同参画の研修会等を計画する。	0	子育て支援課
事業名	職員研修											
時期	随時											
対象	職員（保育士）											

基本目標	1	ともに考える 男女共同参画社会をめざす意識づくり
方針	2	男女共同参画の視点に立った教育・学習の推進
施策	1	幼稚園、保育園、学校などにおける男女平等教育の推進

事業費:単位 千円

具体的事業	26年度実施状況			次年度計画		担当課								
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費									
13 男女ともに参画しやすい保護者会活動を推進します	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>保護者会・PTA 役員会</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>随時</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>保育園・幼稚園 の保護者</td> </tr> <tr> <td colspan="2">PTA・保護者会役員 などに男女がバランス よく参画してもらえ るよう働きかけます。</td> </tr> </table>	事業名	保護者会・PTA 役員会	時期	随時	対象	保育園・幼稚園 の保護者	PTA・保護者会役員 などに男女がバランス よく参画してもらえ るよう働きかけます。		0	B 運動会、夕涼み会等 の保育園行事の役員 を決める際、男性保 護者に協力を呼びか けた。	男性保護者 が参加しや すい休日の 行事につい ては、積極 的に参加を 呼び掛けて いく。	0	子育て支援課
事業名	保護者会・PTA 役員会													
時期	随時													
対象	保育園・幼稚園 の保護者													
PTA・保護者会役員 などに男女がバランス よく参画してもらえ るよう働きかけます。														

基本目標	1	ともに考える 男女共同参画社会をめざす意識づくり
方針	2	男女共同参画の視点に立った教育・学習の推進
施策	2	男女共同参画を理解するための学習機会の提供

事業費:単位 千円

具体的事業	26年度実施状況			次年度計画		担当課
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費	
14 【再掲】男女共同参画に関する講座や講演会など実施します	事業名	つばめ「女と男」ふれ愛フェスタ	600	A ・実行委員会では男女が委員になり、フェスタの企画運営を行った。 ・大勢の方が来場しやすいよう休日に開催した。 ・来場者に男女共同参画の意識についてアンケートを行い、男女別に集計した。 ・条例制定に対する意見についてもアンケートを行い、男女別に集計した。	700	地域振興課
	時期	10月13日				
14 【再掲】男女共同参画に関する講座や講演会など実施します	事業名	地域セミナー健康講座	65	A ・男女にとって重要であるワーク・ライフ・バランスの推進をテーマに行った。 ・事業所からもワーク・ライフ・バランスに取り組んでもらうためハッピーパートナー企業に案内し担当者等の出席を働きかけた。 ・女性の健康について理解を深めてもらうため女性の心と体の変化をテーマに行った。	100	地域振興課
	時期	12月、2月				

基本目標	1	ともに考える 男女共同参画社会をめざす意識づくり
方針	2	男女共同参画の視点に立った教育・学習の推進
施策	2	男女共同参画を理解するための学習機会の提供

事業費:単位 千円

具体的事業	26年度実施状況			次年度計画		担当課	
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費		
14 【再掲】男女共同参画に関する講座や講演会など実施します	事業名	つばめ目耕塾 第6回「縁満社会と生きがいづくり～コミュ活のすすめ～」	130	A ・チラシ、ポスターなどを作成したとき、性別による固定的役割分担を表すようなイラストや表現を使用しないように配慮した。 ・男女共同参画の内容を含んだ講座を行った。 ・アンケートにより男女別の感想・要望等を把握している。	男女共同参画における課題やニーズを反映した講座を開催する。	150	社会教育課
	時期	9月9日					
	対象	成人（主に高齢者）					
	<p>「つばめ目耕塾」は、高齢者を主な対象として様々な学習機会を提供し、心豊かな生きがいのある生活となるよう役立ててもらうことを目的に全12回開催。この回では、孤立を防ぎ地域との繋がりを持つため、ボランティアやサークル活動などのコミュニティー活動の必要性をお話しいただいた。</p> <p>■参加人数 52人（男20人・女32人）</p>						
15 男女共同参画に関する図書を整備します	事業名	男女共同参画関連図書の紹介	0	B ・性別の違いによる課題やニーズなどについて、図書に偏りが無いように配慮した。 ・老若男女、身近でさまざまな角度から男女共同参画の意識啓発につながるような図書を選定した。	男女共同参画週間に合わせ、情報提供をしていく。	0	社会教育課
	時期	3月					
	対象	市民					
	<p>・広報3月1日号「Book Choice」欄で『社会での性差』をテーマに図書を紹介した。</p> <p>・燕市立図書館の展示コーナーで男女共同参画の意識啓発につながるような図書を紹介した。</p>						

基本目標	2	ともに参画する 男女共同参画の社会づくり
方針	1	あらゆる分野における政策・方針決定過程への女性参画の推進
施策	1	市の各種審議会等への女性参画の推進

事業費:単位 千円

具体的事業	26年度実施状況			次年度計画		担当課	
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費		
16 市の各種審議会等への女性委員の登用を推進します	事業名	女性委員登用の推進	0	B ・指針に基づき、各課での女性委員の登用状況の把握に努めている。	指針に基づき、引き続き、各課へ女性委員の登用を働きかけていく。	0	総務課
	時期	随時					
	対象	委員					
	附属機関については、「燕市附属機関等の設置、運営、公募及び公開に関する指針」に基づき、各課で女性委員の登用に努めている。						
17 女性委員の登用状況を定期的に調査し、公表します	事業名	女性委員登用状況調査	0	B ・調査を行うことにより女性委員登用を啓発することにつながる。	26年度同様	0	地域振興課
	時期	7月・1月					
	対象	職員					
	審議会等への女性委員登用の推進状況を調査し、県へ報告するための調査を7月に実施し、1月にプランの推進実施状況報告と合わせて調査した。結果についてはHPで公表する。						

基本目標	2	ともに参画する 男女共同参画の社会づくり
方針	1	あらゆる分野における政策・方針決定過程への女性参画の推進
施策	2	防災、被災時、災害復興時の女性参画の推進

事業費:単位 千円

具体的事業	26年度実施状況			次年度計画		担当課
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費	
18 女性の人権尊重に配慮して地域防災計画を策定します	事業名	女性の視点を取り入れた避難所運営	0	B ・避難所担当職員に女性職員を多く配置した。 ・女性職員の視点も取り入れながら、避難所ごとに避難スペースの検討を行った。	0	防災課
	時期	通年				
	対象	職員				
	今年度から指定避難所45ヶ所（第3次避難所を除く）に避難所担当職員を各2名割り当てたが、災害時に女性の視点を取り入れた避難所運営ができるよう、女性職員を多く配置した。 ■避難所担当職員人数 90人（男 34人・女 56人）					
19 自主防災組織への女性の参画を働きかけます	事業名	女性の防災活動の参画促進	0	B ・防災活動における男女のニーズの違いなどについて説明し、女性の活動参画を働きかけた。	0	防災課
	時期	通年				
	対象	自主防災組織、まちづくり協議会など				
	自主防災組織やまちづくり協議会などが行う地域の防災訓練などの防災活動において、女性の視点を取り入れた活動を展開させることによって、より地域の防災力が向上されることなどを出前講座や地域の防災活動に参加した際に説明している。 ■出前講座・地域の防災活動の件数 24件					

基本目標	2	ともに参画する 男女共同参画の社会づくり
方針	1	あらゆる分野における政策・方針決定過程への女性参画の推進
施策	3	事業所、各種団体等における女性参画の推進

事業費:単位 千円

具体的事業	26年度実施状況			次年度計画		担当課	
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費		
20 事業所などへ女性登用を働きかけます	事業名	事業所への女性登用の啓発	0	B ・男女共同参画における啓発事業を実施した。	26年度同様	0	商工振興課
	時期	随時					
	対象	市内事業所					
	新潟労働局や県労政雇用課より送付されてきたポスターの掲示、リーフレット等の各商工団体の窓口への設置や、広報掲載の依頼をすることによって、企業への周知を図った。また、市関係各所窓口にも設置することで、広く市民への周知に努めた。						
21 農業関係団体へ女性登用を働きかけます	事業名	農業関係団体への啓発	0	B ・「人・農地プラン」の策定にあたり、プランの検討会委員に3割を超える女性の参加を求めた。	現段階においては計画策定中	0	農政課
	時期	随時					
	対象	女性農業者					
	JAを始め各農業団体や農業法人との情報交換や連携を取りながら、啓発活動を実施していく。						
22 事業者や各種団体等における男女共同参画の啓発を行います	事業名	異業種交流女性研修会の開催	30	A ・女性リーダーに求められる意識や課題等を企画に取り入れた。 ・企業と職員が交流することにより女性が活躍するための課題把握や情報交換ができた。 ・地元企業へのヒアリングを実施し、研修会のニーズを把握した。	総務課と共催で異業種交流女性研修会を継続実施する。継続して実施することで女性職員の意識啓発を図っていく。	100	地域振興課
	時期	2月4日					
	対象	30歳代後半～40歳代前半の主任級女性職員					
	総務課と共催 ・地元企業で今後活躍が期待される女性社員と市職員との交流研修会を開催し、講義やグループワークを行った。 参加者40人（企業10社、20人・職員20人）						

基本目標	2	ともに参画する 男女共同参画の社会づくり
方針	1	あらゆる分野における政策・方針決定過程への女性参画の推進
施策	3	事業所、各種団体等における女性参画の推進

事業費:単位 千円

具体的事業	26年度実施状況			次年度計画		担当課
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費	
23	<p>ハッピー・パートナー企業（新潟県男女共同参画推進企業）の登録を推進します</p> <p>事業名</p> <p>ハッピー・パートナー企業の登録推進</p> <p>時期</p> <p>通年</p> <p>対象</p> <p>市内企業、団体</p> <p>広報紙にハッピー・パートナー企業の登録について掲載。建設関係団体の集まりにて県から制度について説明してもらう機会を設けた。平成27年1月末現在28社 平成26年度登録数11社</p>	0	<p>B</p> <p>・事業所へ制度について説明することで男女共同参画の啓発につながる</p> <p>・入札の評価項目にハッピー・パートナー企業の登録と女性技術者の雇用の有無を加えたことにより登録推進につながった。</p>	<p>他団体についても制度についての説明会を実施し登録を推進する。</p>	0	地域振興課
23	<p>ハッピー・パートナー企業（新潟県男女共同参画推進企業）の登録を推進します</p> <p>事業名</p> <p>ハッピー・パートナー企業についての市内事業所への周知、啓発</p> <p>時期</p> <p>随時</p> <p>対象</p> <p>市内事業所</p> <p>リーフレット等による周知を行った。</p>	0	<p>B</p> <p>・リーフレット等による周知を行った。</p>	26年度同様	0	商工振興課

基本目標	2	ともに参画する 男女共同参画の社会づくり
方針	2	地域・家庭における男女共同参画の推進
施策	1	地域における男女共同参画の推進

事業費:単位 千円

具体的事業	26年度実施状況			次年度計画		担当課	
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費		
24 自治会長や自治会役員に女性登用を働きかけます	事業名	自治会役員等地域組織への啓発	0	D	26年度同様	0	総務課
	時期	自治会総会開催時					
	対象	各自治会					
	自治会長は、自治会から推薦された方を市長が委嘱しているため、こちらから女性を推薦してとは言えない。また、自治会役員も総会で決定されており、自治会に任せています。						
25 まちづくり協議会の役員に女性登用を働きかけます	事業名	まちづくり協議会懇談会	0	B ・懇談会で地域の課題を地域で解決していくためには女性も含め多様な意見や力が必要である旨を話した。	機会あるごとに、女性参画について働きかけていきたい。	0	地域振興課
	時期	8月・2月					
	対象	まちづくり協議会					
	年に2回行うまちづくり協議会懇談会で、女性参画を働きかける。						
26 地域活動における男女共同参画の啓発を行います	事業名	つばめ「女と男」ふれ愛フェスタ	0	B ・PTAから参加してもらうことにより団体への啓発、子育て世代への啓発につながる。	26年度同様	0	地域振興課
	時期	10月13日					
	対象	市民					
	燕・弥彦PTA連絡協議会と共催し、また実行委員として参加してもらった。						

基本目標	2	ともに参画する 男女共同参画の社会づくり
方針	2	地域・家庭における男女共同参画の推進
施策	1	地域における男女共同参画の推進

事業費:単位 千円

具体的事業	26年度実施状況			次年度計画		担当課	
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費		
27 団体活動の情報収集と活動支援を行います	事業名	イキイキまちづくり事業審査会	60	A ・審査員は男性3人、女性2人で構成し、男女双方の意見を審査に反映させている。 ・審査会においては男女双方が発言しやすいような会議運営に配慮した。公開審査会は、仕事をしている人が参加しやすいように夜間に実施した。 ・女性の活躍がめざましいNPO活動や市民団体に関係する団体の女性が審査員をつとめることにより、市内の団体の女性の活躍に波及していく。	審査会の開催回数の見直し等を検討するなど、イキイキまちづくり団体の活動を支援していく。	60	地域振興課
	時期	5月					
	対象	イキイキまちづくり団体					
	イキイキまちづくり事業助成金の申請について審査を行う。						

基本目標	2	ともに参画する 男女共同参画の社会づくり
方針	2	地域・家庭における男女共同参画の推進
施策	2	家庭における男女共同参画の推進

事業費:単位 千円

具体的事業	26年度実施状況			次年度計画		担当課
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費	
28 家庭に向けた男女共同参画の啓発を行います	事業名	つばめ「女」と「男」ふれ愛フェスタ	600	B ・家庭における男女共同参画についてアンケート調査を行い、男女別の集計を行った。 ・アンケートを行うことで啓発につながる。	700	地域振興課
	時期	10月13日				
	対象	市民				
	家庭における男女共同参画についての項目をいれたアンケートを行った。アンケートを行うことで啓発につながる。					
29 家庭教育のための学習会を充実します	事業名	家庭教育推進事業（家庭教育講座/食育推進講座）	300	B ・講座タイトル・チラシ・ポスターにおいて性別による固定的な役割分担を表すような表現をしないよう配慮した。 ・参加しやすい日程を設定した。 ・アンケートは行っているが男女別に行っていないアンケートもある。	300	社会教育課
	時期	通年				
	対象	【家庭教育講座】燕市内の園児・児童・生徒とその保護者 【食育推進講座】小学生とその保護者				
	<p>【家庭教育講座】「心の燕市8つのチャレンジ」を地域・家庭において定着させ推進するために市内の幼稚園・保育園・小学校・中学校のPTAや保護者が主催する家庭教育講座の謝礼金の一部を助成する（助成額：1団体につき上限7,000円）。</p> <p>■参加人数 3,231人（男女別内訳不明） （※1月現在、今年度中開催予定2団体あり）</p> <p>【食育推進講座】小学生とその保護者を対象にした食育講座として3月に実施。親子で“春の和食”を作ることを通じて、日本の“和食”文化に関心を高めてもらおう。</p> <p>■3月14日開催予定（親子12組予定）</p>					

基本目標	2	ともに参画する 男女共同参画の社会づくり
方針	2	地域・家庭における男女共同参画の推進
施策	2	家庭における男女共同参画の推進

事業費:単位 千円

具体的事業	26年度実施状況			次年度計画		担当課	
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費		
30 男性の家事参加や子育て参加を推進するための事業を実施します	事業名	ハッピーベビークラブに男性の参加を推進していきます	36	A ・夫が参加しやすいように、産業カレンダーの休日の土曜日を可能な限り設定。参加した夫婦の感想も参考に企画立案している。 ・夫婦が協力し夢ある子育てができるようGWを実施。上の子どもを連れの参加も可能。 ・毎回、参加者全員に直接感想を聞いており、妻の意見・夫の意見について把握をしている	夫婦で参加できるように、母子手帳交付時に妊婦・夫・家族に対してPRを継続していく。	36	健康づくり課
	時期 対象	通年 母子手帳の交付を受けた夫婦					
	ハッピーベビークラブ（妊婦学級・両親学級）を開催し、夫の参加を促している。母子健康手帳交付時に、ハッピーベビークラブの周知をし、参加勧奨をしている。						
30 男性の家事参加や子育て参加を推進するための事業を実施します	事業名	児童館事業	0	B ・命の大切さを赤ちゃんとふれあうことから若い世代に伝え、将来の父親からも体験してもらおう。	・積極的に男性(男子)の参加を募る。	0	子育て支援課
	時期 対象	随時 乳幼児親子、小・中学生・高校生、地域の父兄					
	・赤ちゃんとふれあい交流会 小・中・高校生が赤ちゃんと触れ合いを通して命の大切さを若い世代に伝える。 ■参加人数136人（男41人・女95人）						

基本目標	2	ともに参画する 男女共同参画の社会づくり
方針	2	地域・家庭における男女共同参画の推進
施策	2	家庭における男女共同参画の推進

事業費:単位 千円

具体的事業	26年度実施状況			次年度計画		担当課						
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費							
30 男性の家事参加や子育て参加を推進するための事業を実施します	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>家庭教育推進事業（家庭教育講座/食育推進講座）</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>通年</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>【家庭教育講座】燕市内の園児・児童・生徒とその保護者 【食育推進講座】小学生とその保護者</td> </tr> </table>	事業名	家庭教育推進事業（家庭教育講座/食育推進講座）	時期	通年	対象	【家庭教育講座】燕市内の園児・児童・生徒とその保護者 【食育推進講座】小学生とその保護者	300	B ・講座タイトル・チラシ・ポスターにおいて性別による固定的な役割分担を表すような表現をしないよう配慮した。 ・参加しやすい日程を設定した。 ・アンケートは行っているが男女別に行っていないアンケートもある。	・性別により役割を固定することなく、家庭教育に関心を持てるような広報を行う。 ・参加しやすい日程を設定する	300	社会教育課
事業名	家庭教育推進事業（家庭教育講座/食育推進講座）											
時期	通年											
対象	【家庭教育講座】燕市内の園児・児童・生徒とその保護者 【食育推進講座】小学生とその保護者											
	<p>【家庭教育講座】「心の燕市8つのチャレンジ」を地域・家庭において定着させ推進するために市内の幼稚園・保育園・小学校・中学校のPTAや保護者が主催する家庭教育講座の謝礼金の一部を助成する（助成額：1団体につき上限7,000円）。</p> <p>■参加人数 3,231人（男女別内訳不明） （※1月現在、今年度中開催予定2団体あり）</p> <p>【食育推進講座】小学生とその保護者を対象にした食育講座として3月に実施。親子で“春の和食”を作ることを通じて、日本の“和食”文化に関心を高めてもらおう。</p> <p>■3月14日開催予定（親子12組予定）</p>											

基本目標	2	ともに参画する 男女共同参画の社会づくり
方針	3	女性の就業環境の整備
施策	1	農業や自営業における女性の就業環境の整備

事業費:単位 千円

具体的事業	26年度実施状況			次年度計画		担当課						
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費							
31 自営業における女性の経営参画を啓発します	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>自営業における女性の経営参画の啓発</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>随時</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>関係機関</td> </tr> </table> 関係機関と連携し、啓発に努めた。	事業名	自営業における女性の経営参画の啓発	時期	随時	対象	関係機関	0	B ・関係機関への周知を行った。	26年度同様	0	商工振興課
事業名	自営業における女性の経営参画の啓発											
時期	随時											
対象	関係機関											
32 家族経営協定締結の普及に努めます	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>家族経営協定の推進と労働条件向上についての啓発</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>随時</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>女性農業者</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・燕市農業委員会でやっている家族協定の締結等事務について、同委員会と情報を共有しながら県などの関係機関との協議を図っている。 ・新規認定就農者の収納計画策定に伴い、協定締結に向け事前協議中（吉田地区）。 ・現在の協定数 27組 	事業名	家族経営協定の推進と労働条件向上についての啓発	時期	随時	対象	女性農業者	0	B ・燕市農業委員会において、家族経営協定締結に向けた啓発活動（農家全戸にチラシ配布）	現段階においては計画策定中	0	農政課
事業名	家族経営協定の推進と労働条件向上についての啓発											
時期	随時											
対象	女性農業者											
33 生産経営の担い手としての知識と技術を取得するための情報を提供します	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>生産経営の担い手としての知識・技術を習得するための研修会の実施</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>随時</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>女性農業者</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・直売所運営にあたり、アドバイザーや出店者が県内の直売所の視察研修を実施し、運営方法、店内レイアウト栽培方法、商品管理方法などを研修した。（H27年1月） ■参加人数13人（女13人）	事業名	生産経営の担い手としての知識・技術を習得するための研修会の実施	時期	随時	対象	女性農業者	0	B ・地域によって直売所の出店者に男性もいられる。 ・さらに男性が出店でできるよう呼びかけた。	女性農業者が自らの経験や、興味をいだいている研修の機会に男性農業者にも呼びかけをし、共に研修する。	0	農政課
事業名	生産経営の担い手としての知識・技術を習得するための研修会の実施											
時期	随時											
対象	女性農業者											

基本目標	2	ともに参画する 男女共同参画の社会づくり
方針	3	女性の就業環境の整備
施策	1	農業や自営業における女性の就業環境の整備

事業費:単位 千円

具体的事業	26年度実施状況			次年度計画		担当課	
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費		
34 女性の起業のための支援をします	事業名	女性の起業のための支援	0	A ・男女共同参画における啓発事業を実施した。	26年度同様	0	商工振興課
	時 期	随時					
	対 象	市民					
	女性の起業の支援方法として、女性の起業を支援する「ママフェス」の共催や、みらい起業塾事業による機会創出を行った。 ■参加人数 約 51人 (男 7人・女 43人)・・・ママフェス ■参加人数 約 22人 (男 5人・女 17人)・・・みらい起業塾						
34 女性の起業のための支援をします	事業名	生産経営の担い手としての知識・技術を習得するための研修会の実施	0	B ・女性起業者を対象としている。	女性農業者が自らの経験や、興味をいだいている研修の機会を支援し、次代を担う若い女性農業者が参加しやすい研修にする。	0	農政課
	時 期	随時					
	対 象	女性農業者					
	・県主催の農村女性育成・起業化支援の商品力向上研修会での講習会を計画。(H27年2月予定)						

基本目標	2	ともに参画する 男女共同参画の社会づくり
方針	3	女性の就業環境の整備
施策	2	職場における女性の就業環境の整備

事業費:単位 千円

具体的事業	26年度実施状況			次年度計画		担当課	
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費		
35 労働基準法、男女雇用機会均等法、その他関係法令を周知します	事業名	労働基準法、男女雇用機会均等法、その他関係法令の周知	0	B ・関係法令の周知に努めた。	26年度同様	0	商工振興課
	時期	随時					
	対象	市民					
	新潟労働局や県労政雇用課より送付されてきたポスターの掲示、リーフレット等の各商工団体の窓口への設置や、広報掲載の依頼をすることによって、企業への周知を図った。また、市関係各所窓口にも設置することで、広く市民への周知に努めた。						
36 パートタイム労働（非正規雇用）条件向上のために関係法令を周知します	事業名	パートタイム労働法・労働者派遣法などの内容周知	0	B ・関係法令の周知を図った。	26年度同様	0	商工振興課
	時期	随時					
	対象	市民					
	新潟労働局や県労政雇用課より送付されてきたポスターの掲示、リーフレット等の各商工団体の窓口への設置や、広報掲載の依頼をすることによって、企業への周知を図った。また、市関係各所窓口にも設置することで、広く市民への周知に努めた。						
37 セクシュアル・ハラスメント防止を啓発します	事業名	セクシャル・ハラスメント防止のための啓発	0	B ・男女共同参画における啓発事業を実施した。	26年度同様	0	商工振興課
	時期	随時					
	対象	市内事業所					
	新潟労働局や県労政雇用課より送付されてきたポスターの掲示、リーフレット等の各商工団体の窓口への設置や、広報掲載の依頼をすることによって、企業への周知を図った。また、市関係各所窓口にも設置することで、広く市民への周知に努めた。						

基本目標	2	ともに参画する 男女共同参画の社会づくり
方針	3	女性の就業環境の整備
施策	2	職場における女性の就業環境の整備

事業費:単位 千円

具体的事業	26年度実施状況			次年度計画		担当課	
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費		
38 セクシュアル・ハラスメントの相談窓口を周知します	事業名	セクシャル・ハラスメントの相談窓口の周知	0	B ・男女共同参画の内容を含んだ事業を実施した	26年度同様	0	商工振興課
	時期	随時					
	対象	市内事業所					
	新潟労働局や県労政雇用課より送付されてきたポスターの掲示、リーフレット等の各商工団体の窓口への設置や、広報掲載の依頼をすることによって、企業への周知を図った。また、市関係各所窓口にも設置することで、広く市民への周知に努めた。						
39 職場での健康管理体制を充実します	事業名	労働者の健康づくり応援事業	0	A ・健康課題を性別でも分析して企画している。 ・個人の健康だけでなく、夫婦の協力した健康づくり等のアドバイス実施。 ・商工会の健診受診者なのでデータはないが、市の働き盛り年代のデータを参考にしている。	男女ともに健康で生活できるようアプローチしていく	1	健康づくり課
	時期	7月、8月					
	対象	吉田商工会会員 事業所従事者 分水商工会会員 事業所従事者					
	商工会が実施する定期健康診断の会場で、受診者に生活習慣病やメンタルヘルスについての健康教育・相談を吉田産業会館で7月25日、分水商工会館で8月19日に実施。 ■参加人数 約143人						

基本目標	2	ともに参画する 男女共同参画の社会づくり
方針	3	女性の就業環境の整備
施策	3	女性の再就職と継続就業のための支援

事業費:単位 千円

具体的事業	26年度実施状況			次年度計画		担当課	
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費		
40 育児・介護休業法を周知します	事業名	育児・介護休業制度の普及と啓発	0	B ・関係法令の周知に努めた。	26年度同様	0	商工振興課
	時期	随時					
	対象	市内事業所					
	新潟労働局や県労政雇用課より送付されてきたポスターの掲示、リーフレット等の各商工団体の窓口への設置や、広報掲載の依頼をすることによって、企業への周知を図った。また、市関係各所窓口にも設置することで、広く市民への周知に努めた。						
41 労働の場における母性保護を周知します	事業名	職場内における出産退職など差別的な慣行の是正と母性保護のため企業への広報と啓発活動の推進	0	B ・男女共同参画における啓発事業を実施した。	26年度同様	0	商工振興課
	時期	随時					
	対象	市内事業所					
	新潟労働局や県労政雇用課より送付されてきたポスターの掲示、リーフレット等の各商工団体の窓口への設置や、広報掲載の依頼をすることによって、企業への周知を図った。また、市関係各所窓口にも設置することで、広く市民への周知に努めた。						

基本目標	2	ともに参画する 男女共同参画の社会づくり
方針	3	女性の就業環境の整備
施策	3	女性の再就職と継続就業のための支援

事業費:単位 千円

具体的事業	26年度実施状況			次年度計画		担当課	
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費		
42 再就職のための情報提供や支援をします	事業名	職業能力の開発・向上を図るための各種の講座情報、職業情報・資料等の収集・提供	0	B ・男女共同参画における啓発事業を行った。	26年度同様	0	商工振興課
	時期	随時					
	対象	市民					
	新潟労働局や県労政雇用課より送付されてきたポスターの掲示、リーフレット等の各商工団体の窓口への設置や、広報掲載の依頼をすることによって、企業への周知を図った。また、市関係各所窓口にも設置することで、広く市民への周知に努めた。						
43 職業能力を開発するための情報提供や支援をします	事業名	職業能力の開発・向上を図るための各種講座情報、職業情報・資料等の収集・提供	0	B ・男女共同参画の内容を含んだ事業を実施した。	26年度同様	0	商工振興課
	時期	随時					
	対象	市内事業所					
	新潟労働局や県労政雇用課より送付されてきたポスターの掲示、リーフレット等の各商工団体の窓口へ設置し、企業への周知を図った。また、市関係各所窓口にも設置することで、広く市民への周知に努めた。磨き屋一番館における研修生募集を通じ、専門的能力開発機会の創出に努めた。						

基本目標	2	ともに参画する 男女共同参画の社会づくり
方針	3	女性の就業環境の整備
施策	3	女性の再就職と継続就業のための支援

事業費:単位 千円

具体的事業	26年度実施状況			次年度計画		担当課	
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費		
43 職業能力を開発するための情報提供や支援をします	事業名	ひとり親家庭の生活の安定と自立の支援	2,480	A ・母子家庭の母、父子家庭の父に限定している。 ・女性職員が相談室で、相談面接に応じるなど、相談しやすい環境を整えている。 ・個々の内容を把握管理している。	母子家庭の母又は父子家庭の父の主体的な能力開発を支援するため、就業のための技能や資格取得のための教育訓練受講料の4/10の助成、または生活の安定に資する資格を取得するための生活の経済的負担の軽減を図るため訓練促進費 10万円を支給する。	1,400	社会福祉課
	時期	通年					
	対象	母子家庭の母又は父子家庭の父					
	母子家庭の母又は父子家庭の父の就職の際に有利である資格を取得する時の生活費として、申請するものに「高等職業訓練促進給付金」月額10万円を支給するもの。 ■0人						

基本目標	3	ともに暮らす 男女共同参画の環境づくり
方針	1	仕事と家庭生活や地域活動が両立できる環境の整備
施策	1	男女がともに働きやすい労働環境の整備

事業費:単位 千円

具体的事業	26年度実施状況			次年度計画		担当課	
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費		
44 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）について啓発します	事業名	地域セミナー	65	A	未定	100	地域振興課
	時期	12月					
	対象	市民					
	ワークライフバランスをテーマに実施。参加者50人（男19人・女31人）						
44 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）について啓発します	事業名	ワーク・ライフ・バランスについての情報提供	0	B	26年度同様	0	商工振興課
	時期	随時					
	対象	市民					
	新潟労働局や県労政雇用課より送付されてきたポスターの掲示、リーフレット等の各商工団体の窓口への設置や、広報掲載の依頼をすることによって、企業への周知を図った。また、市関係各所窓口にも設置することで、広く市民への周知に努めた。						
45 【再掲】ハッピー・パートナー企業（新潟県男女共同参画推進企業）の登録を推進します	事業名	ハッピー・パートナー企業の登録推進	0	B	他団体についても制度についての説明会を実施し登録を推進する。	0	地域振興課
	時期	通年					
	対象	市内企業、団体					
	広報紙にハッピー・パートナー企業の登録について掲載。建設関係団体の集まりにて県から制度について説明してもらう機会を設けた。平成27年1月末現在28社平成26年度登録数11社						

基本目標	3	ともに暮らす 男女共同参画の環境づくり
方針	1	仕事と家庭生活や地域活動が両立できる環境の整備
施策	1	男女がともに働きやすい労働環境の整備

事業費:単位 千円

具体的事業	26年度実施状況			次年度計画		担当課
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費	
45 【再掲】 ハッピー・パートナー企業（新潟県男女共同参画推進企業）の登録を推進します	事業名	ハッピー・パートナー企業についての市内事業所への周知、啓発	0	B ・リーフレット等による周知を行った。	26年度同様	0
	時期	随時				
	対象	市内事業所				
		リーフレット等による周知を行った。				
46 【再掲】 育児・介護休業法を周知します	事業名	育児・介護休業制度の普及と啓発	0	B ・関係法令の周知に努めた。	26年度同様	0
	時期	随時				
	対象	市内事業所				
		新潟労働局や県労政雇用課より送付されてきたポスターの掲示、リーフレット等の各商工団体の窓口への設置や、広報掲載の依頼をすることによって、企業への周知を図った。また、市関係各所窓口にも設置することで、広く市民への周知に努めた。				

基本目標	3	ともに暮らす 男女共同参画の環境づくり
方針	1	仕事と家庭生活や地域活動が両立できる環境の整備
施策	2	多様なライフスタイルに対応した子育て・介護支援の充実

事業費:単位 千円

具体的事業	26年度実施状況			次年度計画		担当課						
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費							
47 延長保育、早朝保育、乳児・未滿時保育、障がい児保育、一時保育などの保育サービスを充実します	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>延長・早朝・乳児・障がい児・一時・特定保育の充実</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>保育実施日</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>園児と保護者</td> </tr> </table> <p>保育を必要とする児童とその保護者を対象に実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・延長…午後4時～6時30分 公立17園・私立1園、6時45分 私立4園、7時 公立3園、8時 私立1園 ・早朝…午前7時30分～8時 公立19園・私立1園、7時15分～ 私立4園、7時～私立1園 ・乳児…生後2ヵ月以上 公立8園・私立2園、生後5ヵ月以上 私立2園、生後6ヵ月以上 公立1園・私立2園 ・休日保育…私立のきららおひさま保育園1園 ・障がい児…集団保育が可能であれば、加配保育士を付けて全園で受入可能 ・一時保育…公立は大曲八王寺・あおい保育園の2園、私立は第二泉保育園・ぎんなん保育園・きららおひさま保育園の3園 ・特定保育…公立の西燕保育園1園 	事業名	延長・早朝・乳児・障がい児・一時・特定保育の充実	時期	保育実施日	対象	園児と保護者	45,412	B	26年度同様	51,128	子育て支援課
事業名	延長・早朝・乳児・障がい児・一時・特定保育の充実											
時期	保育実施日											
対象	園児と保護者											
			・次の世代を生きる子どもたちが豊かに健やかに育つよう、多様な保育サービスを提供し、子育てをする保護者の支援をする。									

基本目標	3	ともに暮らす 男女共同参画の環境づくり
方針	1	仕事と家庭生活や地域活動が両立できる環境の整備
施策	2	多様なライフスタイルに対応した子育て・介護支援の充実

事業費:単位 千円

具体的事業	26年度実施状況			次年度計画		担当課	
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費		
48 病児・病後児保育事業を充実します。	事業名	病児・病後児保育の実施	18,217	B ・子育てと仕事の両立を図ることができる。 病児保育室を利用する子どもの送迎をする保護者に対しては、男女に関わらず施設を利用しやすい環境づくりを心掛けた。	平成26年度に開設した病児保育室で病児・病後児保育を実施することにより、仕事と子育ての両立を支援する。	18,526	子育て支援課
	時期	通年					
	対象	生後6カ月～小学校3年生					
	<ul style="list-style-type: none"> ・ファミリーサポート会員を対象に病児・病後児保育の実施のための研修を行った。 ・平成26年4月より小児科医院に併設する病児保育室を開設し事業の充実を図った。 <p>■参加人数182人（男5人・女177人）</p>						
49 児童の放課後の居場所を充実します	事業名	児童館・児童クラブ・なかまの会	184,867	B ・放課後に保護者いない児童の健全育成と共働きの両親の就労支援を図る。	26年度同様	184,867	子育て支援課
	時期	通年					
	対象	乳幼児・小学生・中学生・高校生					
	<ul style="list-style-type: none"> ・児童館 児童、乳幼児及び保護者等を対象に季節の事業や体験活動を実施し、地域の児童の健全育成を図る。（8館） ・児童クラブ 就業などにより、保護者が昼間家庭にいない小学校1～4年生までの放課後児童を午後6時30分まで預かり、適切な遊びの場と生活の場を提供する。（16ヶ所） ・なかまの会 午後6時00分まで小学校6年生までの放課後児童の居場所を提供する。（5ヶ所） 						

基本目標	3	ともに暮らす 男女共同参画の環境づくり
方針	1	仕事と家庭生活や地域活動が両立できる環境の整備
施策	2	多様なライフスタイルに対応した子育て・介護支援の充実

事業費:単位 千円

具体的事業	26年度実施状況			次年度計画		担当課						
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費							
50 ファミリーサポートセンターを充実します	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>会員養成講座</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>10月から2月(年9回)</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>ファミリーサポートセンター会員</td> </tr> </table> <p>・より良い子育て支援ができるよう、ファミリーサポートセンター会員の募集と会員養成講座を開催する。 ・会員養成講座 提供会員の資質向上を目的に、専門の知識を持った講師から普通救命講習や子どもの成長過程に合わせた対応方法などの講座を開催する。 ■参加人数 約182人(男5人・女177人) ※8回終了時点</p>	事業名	会員養成講座	時期	10月から2月(年9回)	対象	ファミリーサポートセンター会員	69	B 保育の必要な子どもを連れた受講者のため受講中の保育を実施している。	保育の必要な子どもがいても受講できるように今後も継続する。	69	子育て支援課
事業名	会員養成講座											
時期	10月から2月(年9回)											
対象	ファミリーサポートセンター会員											
51 地域子育て支援拠点事業を充実します	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>子育て支援センター</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>通年</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>児童及び保護者</td> </tr> </table> <p>・子育て支援センター …市内5カ所に設置されている児童館や保育園併設及び単独の子育て支援センターで各種教室や講座等により、地域の子育て家庭に対し育児支援を実施。 ■利用人数 34,161人 H26.4~H26.12(9か月間実績)</p>	事業名	子育て支援センター	時期	通年	対象	児童及び保護者	230	A ・事業内容は男女に関係なく参加できる。来館者や参加者に制限をつけていない。 ・両親、祖父母も参加できる内容にしてある。保育ボランティアを願いし、講座に集中できる体制づくりをした。 ・参加人数は抑えてあるが、男女別を把握していない。しかし、男女とも参加している。	・子育て支援センター …市内6カ所に設置されている児童館や保育園併設及び単独の子育て支援センターで各種教室や講座等により、地域の子育て家庭に対し育児支援を実施。(子育て支援センター1カ所増。)子育て支援ガイド等でPRしている。男性の参加者も増えている。	275	子育て支援課
事業名	子育て支援センター											
時期	通年											
対象	児童及び保護者											

基本目標	3	ともに暮らす 男女共同参画の環境づくり
方針	1	仕事と家庭生活や地域活動が両立できる環境の整備
施策	2	多様なライフスタイルに対応した子育て・介護支援の充実

事業費:単位 千円

具体的事業	26年度実施状況			次年度計画		担当課
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費	
52 地域包括支援センターの運営を充実します	事業名 包括的支援事業 時期 平成18年度から 対象 65歳以上住民 地域の高齢者が、住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続できるようにするため日常的個別相談、支援困難者への指導・助言を行っています。平成24年度は人員を4人から5人に増員し、増加する相談業務に対応している。また、増員により3職種がそれぞれの職種の特徴を生かした活動に取り組めるようになっている。地域包括ケアの理念にもとづき、多職種が参加する地域ケア会議などを実施した。 ■参加人数10,000人 総相談件数(見込み) ■地域包括支援センター主催の地域ケア会議開催回数 35件(見込み)	90,000	B ・第5期の介護保険計画に沿って行っている。多様なライフスタイルへの対応のため介護支援の充実をはかっている。	個別相談、支援困難者への指導・助言に加え、地域ケア会議、ネットワーク構築の業務を引き続き力を入れて行う。	90,000	長寿福祉課

基本目標	3	ともに暮らす 男女共同参画の環境づくり
方針	1	仕事と家庭生活や地域活動が両立できる環境の整備
施策	2	多様なライフスタイルに対応した子育て・介護支援の充実

事業費:単位 千円

具体的事業	26年度実施状況			次年度計画		担当課
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費	
53 介護保険サービスを充実します	事業名 介護サービス給付事業 時期 平成12年から 対象 40歳以上の要介護・要支援の認定を受けた方 平成24年度からは、第5期介護保険事業計画にそって事業が行われている。第5期計画最終年度となる今年度は、24時間いつでも対応可能となる「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が平成26年10月から吉田地区で開設され、また小規模多機能型居宅介護（登録定員25名）と高齢者グループホーム（18床）の複合施設が分水地区に平成27年3月改正予定となっている。次年度からは、第6期介護保険事業計画に基づき、高齢者が住み慣れた地域での生活を継続できるよう在宅系サービス・施設サービスの整備を行う予定。 ■人数 4,117人（男1,290人・女2,827人） 平成26年11月要介護認定者数	7,267,310	B ・第5期の介護保険計画に沿って行っている。多様なライフスタイルへの対応のため介護支援の充実をはかっている	第6期介護保険計画に基づき、要介護認定者及びその家族のニーズに対応した多様なサービスの確保・提供を行う。	7,629,846	長寿福祉課

基本目標	3	ともに暮らす 男女共同参画の環境づくり
方針	1	仕事と家庭生活や地域活動が両立できる環境の整備
施策	2	多様なライフスタイルに対応した子育て・介護支援の充実

事業費:単位 千円

具体的事業	26年度実施状況			次年度計画		担当課	
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費		
54 家族介護者 交流事業を 充実します	事業名	在宅介護者リフ レッシュ事業	1,000	C	26年度同様	1,000	長寿福祉課
	時期	通年					
	対象	要介護1以上の 方の在宅介護者					
	高齢者を在宅で介護し ている家族を介護から 一時的に解放し、心身 の元気回復を図るため 日帰り旅行（1回 参加 者20名、男3名・女17 名）、一泊旅行（1回 参加者20名、男8名・女 12名）、ランチ交流会 （12月末現在2回 参加者延27名、男1名・ 女26名）、ほっとカ フェ（12月末現在9回 参加者延28名、男11 名・女17名）、男性介 護者支援を考える講演 会（1回 参加者64名） など、交流事業を実 施。（燕市社会福祉協 議会委託） ■参加人数 12月末 現在 159人（男87人・ 女 72人）						

基本目標	3	ともに暮らす 男女共同参画の環境づくり
方針	1	仕事と家庭生活や地域活動が両立できる環境の整備
施策	2	多様なライフスタイルに対応した子育て・介護支援の充実

事業費:単位 千円

具体的事業	26年度実施状況			次年度計画		担当課
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費	
55 介護予防サービスを推進します	事業名 地域支援事業 時期 平成24年4月から 対象 65歳以上住民 24年度から要介護状態または要支援状態となることを予防するため、主として活動的な状態にある高齢者を対象に、レインボー体操普及により転倒予防・脳活性化を図り、運動習慣を身に着け、レインボー体操を取り入れた自主グループの育成などをおこない、100日運動とも連携している。これにより、生活機能の維持または向上に向けた取り組みが、自発的な活動となり、地域の高齢者が自ら活動に参加し、広く・主体的に実施されるために、また、新たなサロン活動ともなるよう、社会福祉協議会に委託し実施している。 ■参加人数 410人(男10人・女400人)(見込み)	7290	A ・男性が教室に参加しやすいように、地域の男性リーダー(自治会長等地区役員)にも参加を呼び掛けている。 ・見学・体験をしてもらい、継続できるよう働きかけている。 ・H26.11月に教室の運動効果の評価のためにアンケート実施(261人回答)。男性回答者5人。	運動機能向上に役立つレインボー体操を引き続き普及していく。自主グループ数の増加・男性参加者の増加を目指す。ふれあいサロンの活動でもレインボー体操を通じて介護予防できるように、社会福祉協議会に委託し実施している。	7,142	長寿福祉課

基本目標	3	ともに暮らす 男女共同参画の環境づくり
方針	1	仕事と家庭生活や地域活動が両立できる環境の整備
施策	2	多様なライフスタイルに対応した子育て・介護支援の充実

事業費:単位 千円

具体的事業	26年度実施状況			次年度計画		担当課	
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費		
56 在宅福祉サービスを充実します	事業名	在宅介護保険サービス利用者負担軽減事業	1,500	C	26年度同様	1,200	長寿福祉課
	時期	通年					
	対象	要支援1から要介護2までの認定を受けている者					
	要支援1から要介護2までの認定を受けている人で対象要件に該当する人に、在宅の介護保険サービス自己負担額の3/10を軽減しました。 ■対象人数 12月末現在 26人（男6人・女20人）						
56 在宅福祉サービスを充実します	事業名	在宅介護手当支給事業	73,570	C	26年度同様	72,999	長寿福祉課
	時期	8月、11月、2月、5月					
	対象	要介護3以上の認定を受けている在宅の者					
	在宅で要介護3以上の認定を受けている人を介護する家族に、介護者の精神的、経済的な負担の軽減を図るため、在宅介護手当を支給しました。 ■対象人数 約750人						

基本目標	3	ともに暮らす 男女共同参画の環境づくり
方針	1	仕事と家庭生活や地域活動が両立できる環境の整備
施策	2	多様なライフスタイルに対応した子育て・介護支援の充実

事業費:単位 千円

具体的事業	26年度実施状況			次年度計画		担当課	
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費		
57 ひとり親家庭等の医療費を助成します	事業名	ひとり親医療費助成の充実	41,094	B ・母子家庭、父子家庭とも対象になっている。 ・ひとり親家庭の父、または母及び児童等に対し、医療費の自己負担額から一部負担金を除いた額を助成することで、ひとり親家庭が安心して生活できる環境整備、保健の向上と福祉の増進を図りました。	26年度同様	38,966	保険年金課
	時期 対象	随時 母子又は父子家庭、配偶者等によるDV被害がある家庭、両親が児童を監護できない養育家庭及び児童を監護する父母のいずれかに重い障害がある家庭					
		母子家庭等からの申請により受給資格を審査し、受給者証を交付する。受給者は受診した医療機関で医療費の一定額を負担し、それ以上の医療費を助成する。また、該当者への勧奨案内や広報紙により制度の周知を図る。 ■受給世帯数 684世帯 (母子623、父子48、養育者13) (男52人・女632人)					

基本目標	3	ともに暮らす 男女共同参画の環境づくり
方針	2	生涯にわたる健康支援
施策	1	男女の健康支援

事業費:単位 千円

具体的事業	26年度実施状況			次年度計画		担当課	
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費		
58	リプロダクティブ・ヘルス/ライツについて啓発します	事業名 時期 対象 未実施	0	D	広報のコラムまたはリプロをテーマにした講座を開催する	0	地域振興課
58	リプロダクティブ・ヘルス/ライツについて啓発します	事業名 時期 対象 助産師が訪問や妊婦学級・両親学級の場で、安全な出産についての指導や産後の家族計画指導の一環として実施。	3,565	A ・性別の違いにより生じる課題やニーズを事業や計画に反映した。 ・夫と妻の両方の意見を聞くように配慮。夫婦で子育ての意識付けを心がけた。 ・妻の意見・夫の意見について把握をしている。	夫婦で参加できるように、夫へのアプローチを検討	3,565	健康づくり課
59	ライフステージに応じた健康相談、健康診査を充実します	事業名 時期 対象 青年層にも、健康への意識を高め、健康の維持増進の機会とするため、健康診査を19歳から39歳にも実施している。 ■参加人数 895人(男248人・女647人)	5,551	A ・企画時に男女の意見を聞いた。 ・プライバシーの保護に配慮。 ・検査データや生活習慣についてを男女別に集計。	男女の健康問題についての比較を今後も実施	6,248	健康づくり課
59	ライフステージに応じた健康相談、健康診査を充実します	事業名 時期 対象 ・児童・生徒及び教職員等の定期健康診断及び就学時健康診断 ・尿検査、ぎょう虫検査、血液(貧血)検査 ・歯科衛生士による歯周病予防指導 ■参加人数 約延10,000人	2,200	A ・全ての児童・生徒・教職員を対象に計画、立案している。 ・健診時において男女を分けて実施する等配慮している。 ・男女別にデータを集計し、性別の違いによる課題を把握するよう努めている。	・児童・生徒及び教職員等の定期健康診断及び就学時健康診断 ・尿検査、ぎょう虫検査、血液(貧血)検査 ・歯科衛生士による歯周病予防指導 ・手洗い教室の実施	2,200	学校教育課

基本目標	3	ともに暮らす 男女共同参画の環境づくり
方針	2	生涯にわたる健康支援
施策	1	男女の健康支援

事業費:単位 千円

具体的事業	26年度実施状況			次年度計画		担当課
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費	
59 ライフステージに応じた健康相談、健康診査を充実します	事業名	保育園・幼稚園児の健康診断	5,181	B ・内科・歯科健診を実施し、保護者が安心して預けられる環境を作る。	保育園児を対象に、年2回実施する。 幼稚園児を対象に、年1回実施する。	子育て支援課
	時期	春・秋の2回（保育園）、春1回（幼稚園）				
	対象	園児				
		・保育園児を対象に、春と秋の2回、医師による内科健診および歯科健診を実施。 ・幼稚園児を対象に、春に医師による内科健診および歯科健診を実施				
60 男女ともにいきいきと生活が送れるように元気増進対策を増進します	事業名	燕市健康増進計画実践プロジェクトの活性化や地区組織の活用、各種イベントにおいてポピュレーションアプローチを実施	51	A ・男女の意見を取り入れ企画 ・男性の参加を促すため、男性が主に運営したイベントの実施や男性のみの講座を企画 ・アンケートをとり男女比を把握	51	健康づくり課
	時期	通年				
	対象	一般				
		健康増進計画実践プロジェクト「元気磨きたい」は26年度14プロジェクトが発足。磨きたいフェアの開催、市民祭への参加、200mいちびへの出店の他、各種検診会場で磨きたいPRと元気の発信を実施。また歯科フェアを11月に燕歯科医師会と共催で開催し、元気磨きたいや地区組織メンバーも参画した。さらに、26年度から元気まつりに地区組織が参画した。				

基本目標	3	ともに暮らす 男女共同参画の環境づくり
方針	2	生涯にわたる健康支援
施策	1	男女の健康支援

事業費:単位 千円

具体的事業	26年度実施状況			次年度計画		担当課						
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費							
61 食育を推進します	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>燕市食育推進計画の推進</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>通年</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>一般</td> </tr> </table> <p>燕市食育推進計画を平成24年3月に策定し、現在実務者会議および食育推進プロジェクト会議を実施している。また、6月の食育月間に合わせて食育の取り組みを実施しており、ホームページ上やポスター掲示の食育だよりを通して食育の意味や大切さ、健康に役立つ情報等を発信している。26年度は、農業まつりやスーパーで食生活改善推進委員による食育PR活動を実施した。</p>	事業名	燕市食育推進計画の推進	時期	通年	対象	一般	930	A ・市内プロジェクトや健康づくり推進委員会で男女の意見を取り入れている。 ・男女共同参画の内容が計画に含まれており、実施。性別に関係なく誰もが参加できる機会や男性のための教室を開催。 ・啓発普及や環境・産業などかなり広範囲のため、参加者や委員の声から男女の意見を把握。	プロジェクトのメンバーが話しやすい環境を整備していく。	1,048	健康づくり課
事業名	燕市食育推進計画の推進											
時期	通年											
対象	一般											
61 食育を推進します	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>食育推進研究会</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>通年</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>小学生、中学生、保護者</td> </tr> </table> <p>実態把握に基づく食育の推進 食育指導計画の整備・改善の促進 便り等による家庭・地域への啓発 ■参加人数24人（男2人・女22人）</p>	事業名	食育推進研究会	時期	通年	対象	小学生、中学生、保護者	0	A ・男女の別なく、全ての児童生徒が生涯にわたって身に付けて欲しいという内容で指導している。 ・食に関する習熟度の確認は、性別でなく年齢別で計画するため、男女共同の視点で実施している。 ・学校では男女の別なく実施しているため、男女別でのデータ集計は行っていない。	・燕市「食の指導プランつばめ」に従った食育の推進 ・「食育だより」の発行による児童生徒、家庭、地域への食育の情報発信	0	学校教育課
事業名	食育推進研究会											
時期	通年											
対象	小学生、中学生、保護者											
61 食育を推進します	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>キッズ健康講座</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>6月18日</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>栗生津保育園全園児及びその保護者</td> </tr> </table> <p>・食育年間計画、保育年間計画に基づいた食育の推進や給食だより、講演会による家庭、地域への啓発を図る。 ・幼児期の食事について保護者に講演。親子でおにぎり作り体験。保育園給食の試食。 ■参加人数 約157人（男39人・女118人）</p>	事業名	キッズ健康講座	時期	6月18日	対象	栗生津保育園全園児及びその保護者	15	A ・保護者会と保育園が相談して来園しやすい日を決めた。 ・「保護者」とし「男女」を示さなかった。 ・保育園で、父母、祖父母と男女別を把握した。	幼児期の食事の重要性和親子で食事を作る楽しさを知ってもらう。男女問わず参加できるように保護者としている。	15	子育て支援課
事業名	キッズ健康講座											
時期	6月18日											
対象	栗生津保育園全園児及びその保護者											

基本目標	3	ともに暮らす 男女共同参画の環境づくり
方針	2	生涯にわたる健康支援
施策	1	男女の健康支援

事業費:単位 千円

具体的事業	26年度実施状況			次年度計画		担当課
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費	
62 心の健康づくりを推進します	事業名 自殺対策事業の実施 時期 通年 対象 一般 ・健診時にアンケートを実施し、実態把握およびハイリスク者への個別支援を実施。相談としては保健師によるこころの相談会を各地区で実施（参加者11人）、随時来所、訪問、電話相談を実施。こころの健康づくりの啓発普及として、11月から1月にこころの健康講座（4回コース） ・9月の防災救急フェアや大腸がん検診等でパンフレットの配布やのぼり旗掲示・地域での健康教育を実施。人材育成としてはゲートキーパー研修会を開催（一般向け1回、市職員向け1回、専門職向け1回）。年1回燕市自殺対策連絡検討会を開催し、事業の評価や今後について協議している。	381	A ・男女の健康課題の違いを反映させている。 ・グループワークでは男女一緒に実施。 ・健診時のアンケートでは性別で集計、課題を分析。	今後も性別によるこころの健康の実態を踏まえ、企画していく。	462	健康づくり課

基本目標	3	ともに暮らす 男女共同参画の環境づくり
方針	2	生涯にわたる健康支援
施策	1	男女の健康支援

事業費:単位 千円

具体的事業	26年度実施状況			次年度計画		担当課	
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費		
63 スポーツを通じた健康づくりを推進します	事業名	健康づくり教室	128	A ・女性でも参加できる ニュースポーツを取り入れ、広報、HPなどにより広く募集に努めた。 ・仕事や家事が終わってからも参加しやすいように、開催時間を午後7時30分からとした。 ・出席簿を作成し、毎回参加者から記入してもらっているのので、開催ごとの参加状況を把握できる。	仕事をしている若い世代の女性や子育てから離れた中高年齢層が参加しやすいよう今後も開催時間をよるの時間帯に設定し、事業を進めていく。	128	社会教育課
	時期	5月上旬～11月上旬					
	対象	一般市民（運動が苦手な人、働き盛りの中高年など）					
		<ul style="list-style-type: none"> ・燕市体育センター 毎週木曜日PM7:30～21:30 参加者数 前期21名 後期 22名 ・スポーツランド燕 毎週火曜日PM7:30～21:30 参加者数 前期15名 後期15名 ・吉田総合体育館 毎週水曜日PM7:30～21:30 参加者数 前期16名 後期 20名 ・分水総合体育館 毎週水曜日PM7:30～21:30 参加者数 前期8名 後期 9名 					
		<ul style="list-style-type: none"> ■参加人数 前期 60人（男 24人・女 36人） 後期 66人（男 26人・女 40人） 					
63 スポーツを通じた健康づくりを推進します	事業名	高齢者健康づくりのつどい	20	A ・広報掲載のほか、社協と連携を図りながら女性・高齢者の参加募集に努めた。 ・女性や高齢者が参加しやすいようヨガやストレッチを取り入れた事業の開催に努めた。 ・参加者にアンケート調査を行い、男女別の参加状況を把握している。	26年度同様	20	社会教育課
	時期	平成26年6月30日（月）					
	対象	市内在住50歳以上の方					
		<ul style="list-style-type: none"> 実技 モーニングストレッチ体操、いきいきクラブ体操、健康ウォーキング 講師 斎藤友子 先生 実技と講義 『心と体が喜ぶ がんばらない運動』コンディショニング体操 講師 健康運動指導士 藤口理恵子 先生 					
		■参加人数 約80人					

基本目標	3	ともに暮らす 男女共同参画の環境づくり
方針	2	生涯にわたる健康支援
施策	2	性差に応じた健康支援

事業費:単位 千円

具体的事業	26年度実施状況			次年度計画		担当課	
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費		
64 女性特有の疾病に対応する検診機会を充実します	事業名	乳がん・子宮がん検診の年齢・回数の拡充及び無料クーポン券発行、骨粗しょう症検診の毎年実施	60,636	A ・女性の健康課題やニーズについて把握。 ・女性職員がなるべく従事。医療機関での個別健診も実施。 ・健診データの分析の実施。	施設健診の機会を増やすなど受けやすい体制を整備し、啓発していく。	62,955	健康づくり課
	時期	6～11月					
	対象	検診の対象年齢に該当する女性					
	子宮がん検診を20歳から毎年実施、乳がんの視触診検診を30～39歳にも実施、骨粗しょう症検診は節目年齢ではなく毎年継続して受診できる。 ■人数11,763人						
65 妊娠・出産における健康支援をします	事業名	母子手帳交付時に妊婦一般健康診査受診指導の実施	0	A ・妊娠・出産についての課題についての指導も取り入れた健診項目の設定。 ・未婚の母や若年妊娠については可能な限りプライバシーに配慮し、交付時に指導。 ・妊婦健診の結果を把握、指導に生かしている。	里帰り出産など市外での出産もあるので、今後も丁寧に指導をしていく。	0	健康づくり課
	時期	通年					
	対象	母子手帳交付申請者					
	母子手帳交付時に、妊婦一般健康診査（14回）の助成について説明をし、受診指導を実施している。						

基本目標	3	ともに暮らす 男女共同参画の環境づくり
方針	2	生涯にわたる健康支援
施策	2	性差に応じた健康支援

事業費:単位 千円

具体的事業	26年度実施状況			次年度計画		担当課	
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費		
66 子宮頸がんワクチンの助成をします	事業名	子宮頸がんワクチンの接種費用補助および接種勧奨	0	D		0	健康づくり課
	時期						
	対象						
	平成25年4月1日、予防接種法に基づく定期接種に移行したため、ワクチンの接種費用助成事業は終了した。 その後、子宮頸がんワクチン接種後の副反応報告について厚生労働省で協議した結果、平成25年6月14日からは積極的な接種勧奨を差し控えることになった。						
67 不妊に関する相談、支援をします	事業名	燕市特定不妊治療費助成事業を実施	1,448	A ・男女の意見を聞いた。 ・プライバシーの保護に努めている。 ・その後の妊娠成功者を確認している。	申請者へのプライバシーの保護に今後もつとめていく。	3,000	健康づくり課
	時期	通年					
	対象	県の補助制度利用者					
	新潟県不妊に悩む方への特定支援事業を申請し助成の承認を受けた人に、平成25年4月1日以降に新潟県知事が指定した医療機関で行う体外受精及び顕微授精に要した費用について、県の助成額を控除した額の2分の1を補助します。(1治療あたり8万円を上限、1年度あたり2回を限度、最長10回または通算5年間) ■29組※1月末現在						

基本目標	3	ともに暮らす 男女共同参画の環境づくり
方針	2	生涯にわたる健康支援
施策	2	性差に応じた健康支援

事業費:単位 千円

具体的事業	26年度実施状況			次年度計画		担当課	
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費		
68 男性特有の疾病に対する検診機会を充実します	事業名	前立腺がん検診の実施	4,336	A ・男性の健康課題を取り上げている。 ・血液検査なので簡易、待ち時間が少なくなるよう配慮。 ・検査結果の把握をしている。	男性が健康について考えるよい機会と捉え、今後も継続していく。	4,354	健康づくり課
	時期	10月					
	対象	50歳以上の男性					
	世帯調査票を配布し検診希望を把握して、申込者に受診票を送付している。受診票送付後や検診当日の申し込みも可能にしている。血液検査による前立腺特異抗原検査を実施している。						

基本目標	3	ともに暮らす 男女共同参画の環境づくり
方針	3	女性に対するあらゆる暴力の根絶
施策	1	暴力根絶に向けた意識啓発

事業費:単位 千円

具体的事業	26年度実施状況			次年度計画		担当課	
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費		
69 ドメスティック・バイオレンス防止を啓発します	事業名	ドメスティック・バイオレンス防止啓発	0	A ・男性とは異なる女性ならではの問題を相談できる窓口設置の周知をした。 ・家庭児童相談員が相談室において、相談面接に応じるなど、女性が相談しやすい環境づくりに配慮した。 ・個人別に相談記録を管理している。	女性の問題に対応した相談窓口開設について、広報に掲載し周知に努める。	0	社会福祉課
	時期	通年					
	対象	市民					
	DV相談窓口の開設を毎月広報で周知						
70 【再掲】セクシュアル・ハラスメント防止を啓発します	事業名	セクシュアル・ハラスメント防止のための啓発	0	B ・男女共同参画における啓発事業を実施した。	26年度同様	0	商工振興課
	時期	随時					
	対象	市内事業所					
	新潟労働局や県労政雇用課より送付されてきたポスターの掲示、リーフレット等の各商工団体の窓口への設置や、広報掲載の依頼をすることによって、企業への周知を図った。また、市関係各所窓口にも設置することで、広く市民への周知に努めた。						

基本目標	3	ともに暮らす 男女共同参画の環境づくり
方針	3	女性に対するあらゆる暴力の根絶
施策	2	被害者の自立支援対策の推進

事業費:単位 千円

具体的事業	26年度実施状況			次年度計画		担当課						
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費							
71 児童虐待など家庭内における暴力の早期発見、被害者の保護に努めます	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>児童虐待防止の推進</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>通年</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>市民</td> </tr> </table> <p>要保護児童対策地域協議会 代表者会議 年1回開催。(5月) 実務者会議 年4回開催。(7月、10月、1月、2月) 個別ケース検討会議開催。(50回) 男女の構成員で成立、関係機関と連携しながら児童虐待防止及び要保護児童の支援に努めた。また、男女の視点で意見交換・支援の方向性の話し合いを行った。</p>	事業名	児童虐待防止の推進	時期	通年	対象	市民	6,626	A ・要保護児童の虐待防止・支援に対し、性別の違いにより生じる課題などを協議会関係機関の代表者・構成員にかかわらず男女の意見を聞いた。 ・会議招集にあたり、男女のバランス、プライバシーの保護について留意した。 ・参集者及び会議内容の記録を作成し管理をおこなった。	要保護児童対策地域協議会代表者会議・実務者会議、個別ケース検討会議には男女の参画と関係機関と連携しながら児童虐待防止及び要保護児童の支援に努める。	16,560	社会福祉課
事業名	児童虐待防止の推進											
時期	通年											
対象	市民											
72 被害者の自立を支援します	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>被害者の自立支援と関係相談機関との連携強化</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>通年</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>市民</td> </tr> </table> <p>通告などを通じて、随時警察と連携協力をしている。 「市町村向け女性相談対応マニュアル」に従い、関係機関と連携を取りながら被害者の自立支援に努めた。 ■人数 女6人</p>	事業名	被害者の自立支援と関係相談機関との連携強化	時期	通年	対象	市民	4,086	A ・被害者に対し、男性とは異なる女性ならではの問題を被害者に配慮した相談窓口について関係機関と連携の上、周知をした。 ・家庭児童相談員が相談室において、相談面接に応じるなど、女性が相談しやすい環境に配慮した。 ・個々の相談記録を把握管理している。	女性の問題に対応した相談窓口を設置し、有資格者による家庭児童相談員を配置するなど、女性が相談しやすい環境を整え、「市町村向け女性相談対応マニュアル」に従い、関係機関と連携を取りながら対応していく。	1,872	社会福祉課
事業名	被害者の自立支援と関係相談機関との連携強化											
時期	通年											
対象	市民											

基本目標	3	ともに暮らす 男女共同参画の環境づくり
方針	3	女性に対するあらゆる暴力の根絶
施策	3	相談体制の充実

事業費:単位 千円

具体的事業	26年度実施状況			次年度計画		担当課						
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費							
73 相談窓口を設置し、関係機関や関係団体の相談窓口を周知します	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>各種相談窓口の開設と周知</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>随時</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>市民</td> </tr> </table> <p>毎月定期的または随時、市民等を対象に次の相談を実施している。また、広報つばめで相談の実施について周知している。 ・人権擁護委員及び行政相談委員による相談会 ・その他関係機関と連携したなかでの相談場所の紹介</p>	事業名	各種相談窓口の開設と周知	時期	随時	対象	市民	0	B ・「女性の人権ホットライン」強化週間(11/17～11/23)を広報つばめで周知した。	26年度同様	0	市民課
事業名	各種相談窓口の開設と周知											
時期	随時											
対象	市民											
73 相談窓口を設置し、関係機関や関係団体の相談窓口を周知します	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>女性のための総合相談窓口</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>毎月第3火曜日</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>女性</td> </tr> </table> <p>NP0法人 女のスペース・にいがたの相談員を配置し、女性を対象にした相談事業を実施。広報紙やチラシなどで周知している。4月～1月相談件数16件</p>	事業名	女性のための総合相談窓口	時期	毎月第3火曜日	対象	女性	131	A ・男性とは異なる女性の問題を相談できる窓口を設置した。 ・女性相談員を配置し、女性が相談しやすい環境を整えた。 ・年代別の相談項目などを把握している。	26年度同様	131	地域振興課
事業名	女性のための総合相談窓口											
時期	毎月第3火曜日											
対象	女性											
73 相談窓口を設置し、関係機関や関係団体の相談窓口を周知します	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>DV・児童虐待等の相談</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>通年</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>市民</td> </tr> </table> <p>市役所(社会福祉課)内に家庭児童相談員による相談窓口・児童虐待等相談ダイヤルを設置した。 DVについては、「市町村向け女性相談対応マニュアル」に従い、関係機関と連携をとりながら、被害者の心情に配慮し対応した。 児童虐待については、誰でも気軽に通告・相談ができるよう保育園・幼稚園・関係機関へポスター・チラシを配布し啓発に努めた。</p>	事業名	DV・児童虐待等の相談	時期	通年	対象	市民	6,626	A ・被害者に対し、男性とは異なる女性ならではの問題を被害者に配慮した相談窓口について関係機関と連携の上、周知・対応をした。 ・家庭児童相談員が相談室において、相談面接に応じるなど、女性が相談しやすい環境に配慮した。 ・個々の相談記録を把握管理している。	専門知識を有する家庭児童相談員を配置し、女性が相談しやすい環境を整え、DV被害者及び児童虐待相談等に対し、適切な対応と関係機関との連絡調整により支援に繋げていく。	16,560	社会福祉課
事業名	DV・児童虐待等の相談											
時期	通年											
対象	市民											

基本目標	3	ともに暮らす 男女共同参画の環境づくり
方針	3	女性に対するあらゆる暴力の根絶
施策	3	相談体制の充実

事業費:単位 千円

具体的事業	26年度実施状況			次年度計画		担当課						
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費							
74 【再掲】セクシュアル・ハラスメントの相談窓口を周知します	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>セクシャル・ハラスメントの相談窓口の周知</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>随時</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>市内事業所</td> </tr> </table> <p>新潟労働局や県労政雇用課より送付されてきたポスターの掲示、リーフレット等の各商工団体の窓口への設置や、広報掲載の依頼をすることによって、企業への周知を図った。また、市関係各所窓口にも設置することで、広く市民への周知に努めた。</p>	事業名	セクシャル・ハラスメントの相談窓口の周知	時期	随時	対象	市内事業所	0	B ・男女共同参画における啓発事業を実施した。	26年度同様	0	商工振興課
事業名	セクシャル・ハラスメントの相談窓口の周知											
時期	随時											
対象	市内事業所											

		計画の総合的な推進
施策	1	推進体制の充実

事業費:単位 千円

具体的事業	26年度実施状況			次年度計画		担当課
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費	
75 男女共同参画推進会議を開催し、男女共同参画の施策を総合的かつ効果的に推進します	事業名 男女共同参画推進会議の開催 時 期 7月、8月、11月 対 象 推進会議委員 男女共同参画推進条例制定に向けて条例案の検討、逐条解説の確認を行った。	0	B ・条例案を検討を通して男女共同参画に対する意識の向上が図られる。 ・推進状況を報告し、庁内で課題を共有することで、市政における男女共同参画の推進が図られる。	会議案件がでたときに随時開催する。	0	地域振興課
76 男女共同参画推進委員会を開催し、男女共同参画の推進に関する意見や助言をいただきます	事業名 男女共同参画推進委員会の開催 時 期 8月・9月・2月 対 象 推進委員 ・男女共同参画推進条例の制定に向けて条例案を審議していただいた。 ・プランの推進状況を報告し、男女共同参画推進について、委員から意見や提言をいただく。	145	A ・委員は男性5人、女性5人で構成し、男女双方の意見を聞く機会を設けている ・男女双方が意見を述べるができるよう会議の運営に配慮している。 ・意見提言をいただくことで男女共同参画を推進するための課題を把握することができる。	・男女共同参画基本企画である「第3次燕市男女共同参画推進プラン」の策定に向けて、市民意識調査の調査項目について検討・確認するため開催する。 ・プランの推進状況報告等のため開催する。	110	地域振興課

		計画の総合的な推進
施策	2	市民、事業所、各種団体、関係機関との連携協力

事業費:単位 千円

具体的事業	26年度実施状況			次年度計画		担当課	
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費		
77 市民、事業所、各種団体との連携や協力、情報交換などを行います	事業名	つばめ「女と男」ふれ愛フェスタ	600	B ・実行委員会では男女が委員になり、フェスタの企画運営を行った。 ・実行委員への意識啓発につながる。	合併10周年を迎える年度であることから従来の内容でいいのかも含め実行委員と企画検討する。	700	地域振興課
	時期	10月13日					
	対象	市民					
	市民参加の実行委員会と燕・弥彦PTA連絡協議会と共催でふれ愛フェスタを開催						
78 国や県等関係機関、他市町村との連携や協力、情報交換など行います	事業名	(公財)新潟県女性財団との連携・協力	64	B ・財団と協力することにより男女共同参画の視点で事業を企画できる。 ・財団主催のセミナー等に職員が参加することにより職員への啓発につながる。	26年度同様	100	地域振興課
	時期	通年					
	対象	市民・職員					
	新潟県女性財団と共催で地域セミナーを開催。財団が主催するセミナーや研修に受講を希望する職員参加。						

		計画の総合的な推進
施策	3	市役所内における男女共同参画の推進

事業費:単位 千円

具体的事業	26年度実施状況			次年度計画		担当課	
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費		
79 女性職員の登用を推進します	事業名	男女共同参画職場の推進	0	B ・人事異動の際に自己申告書を提出してもらった。	職員の人事異動にあつては、経験や能力を見極め、できる範囲において、女性職員を活かせる人員配置に努める	0	総務課
	時期	随時					
	対象	職員					
	職員の人事異動にあつては、経験や能力を見極め、できる範囲において、女性職員を活かせる人員配置に努める。						
79 女性職員の登用を推進します	事業名	ポジティブ・アクション導入の検討	70	B ・女性職員の研修等への参加機会を増やした。 ・管理職・監督職への女性の登用を積極的に行つた。	職員の昇任については男女の差別はせず、能力に応じ行う。職員研修については、男性職員に限らず、女性職員にも参加の機会を増やすとともに、女性登用のロールモデルとなる方を招いての研修も新規実施し、意識改革につなげていく。	90	総務課
	時期	随時					
	対象	職員					
	職員の昇任については男女の差別はせず、能力に応じ行う。職員研修については、女性職員の積極的登用を進めていくため、女性職員の意識改革とスキルアップを図る研修を新規実施した。 ■参加人数 124人（男77人・女47人）						

		計画の総合的な推進					
施策	3	市役所内における男女共同参画の推進					
							事業費:単位 千円
具体的事業	26年度実施状況				次年度計画		担当課
	内容		事業費	評価ポイント	内容	事業費	
79	女性職員の登用を推進します	事業名 異業種交流女性研修会の開催 時期 2月4日 対象 30歳代後半～40歳代前半の主任級女性職員 ・地元企業で今後活躍が期待される女性社員の方々と市役所職員との交流研修会を開催。 ・研修は、外部講師を招き、女性の強みをどう職場で発揮するか、組織が求める役割にどう応えていくのかなどについて、講義やグループワークを行った。 ・地元企業10社から20人、市役所から20人、計40人が参加した。	0	A ・職場で求められる意識の確認や仕事をしていくための課題解決方法などを企画に取り入れている。 ・昨年度に引き続き、女性リーダーモデルとなる講師を招き、実際に活躍する女性の視点を取り入れた研修会とする。 ・地元企業へのヒアリングを実施し、研修会のニーズを把握した。	・外部講師を招き、主任級職員を主対象とした異業種交流女性研修会を継続実施する。 ・主任級女性職員を対象とした女性職員研修を継続実施する。 ・民間企業等で活躍する女性リーダー(ロールモデル)を招いて講演会を新規実施する。 ・上述の3つの研修を関連づけて実施し、年間を通じて意識啓発を図っていく。	90	総務課
80	職員を対象にした男女共同参画についての研修を実施します	事業名 異業種交流女性研修会の開催 時期 2月4日 対象 30歳代後半～40歳代前半の主任級女性職員 総務課と共催 ・地元企業で今後活躍が期待される女性社員と市職員との交流研修会を開催し、講義やグループワークを行った。 参加者40人(企業10社、20人・職員20人)	30	A ・女性リーダーに求められる意識や課題等を企画に取り入れた。 ・企業と職員が交流することにより女性が活躍するための課題把握や情報交換ができた。 ・地元企業へのヒアリングを実施し、研修会のニーズを把握した。	総務課と共催で異業種交流女性研修会を継続実施する。継続して実施することで女性職員の意識啓発を図っていく。	100	地域振興課

		計画の総合的な推進
施策	3	市役所内における男女共同参画の推進

事業費:単位 千円

具体的事業	26年度実施状況			次年度計画		担当課						
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費							
81 セクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメントの防止と相談体制の充実に努めます	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>セクハラ・パワハラ防止研修会の開催と相談窓口の周知</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>11月7日</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>主査～副参事級の監督職</td> </tr> </table> <p>外部講師を招き、午前1回・午後1回の計2回研修を実施し、44人の監督職が受講した。(44人のほかに、燕・弥彦総合事務組合の職員8人が受講した。) セクハラ・パワハラ相談窓口及び職員への周知は、5月及び10月に実施した。 ■参加人数 44人(男21人・女23人)</p>	事業名	セクハラ・パワハラ防止研修会の開催と相談窓口の周知	時期	11月7日	対象	主査～副参事級の監督職	140	B ・研修会について、受講対象者に女性職員を半数程度入れた。 ・研修会については、講師を女性にすることにより、女性の視点を取り入れた研修会とした。	外部講師を招き、パワハラ防止のための研修会を継続的に実施。	140	総務課
事業名	セクハラ・パワハラ防止研修会の開催と相談窓口の周知											
時期	11月7日											
対象	主査～副参事級の監督職											
82 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の実現に努めます	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>ノー残業デーの徹底</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>毎週木曜日</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>職員</td> </tr> </table> <p>毎週木曜日を「ノー残業デー」とし、終業時に庁内放送を通じて職員へ周知を図っている。</p>	事業名	ノー残業デーの徹底	時期	毎週木曜日	対象	職員	0	B ・男女を問わずワーク・ライフ・バランスの実現のため残業の縮減を目的としている。	毎週木曜日を「ノー残業デー」とし、当日の庁内放送や掲示板(庁内LAN)を通じて職員へ周知を図る。	0	総務課
事業名	ノー残業デーの徹底											
時期	毎週木曜日											
対象	職員											
83 男性職員の育児・介護休暇、看護休暇の取得を推進します	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>男性職員の育児・介護休暇、看護休暇取得の推進</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>随時</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>職員</td> </tr> </table> <p>・育児休業、部分休業取得者 平成26年度：12月末現在12人(男性0、女性12) ・介護休暇取得者 平成26年度：12月末現在延べ27人(男性19、女性8) ・看護休暇取得者 平成26年度：12月末現在延べ35人(男性11、女性24)</p>	事業名	男性職員の育児・介護休暇、看護休暇取得の推進	時期	随時	対象	職員	0	B ・介護休暇については、男性職員の取得が増加傾向にある。	男性職員の育児・介護休暇、看護休暇取得推進のため、周知の充実と取得しやすい職場の雰囲気づくりを図る。	0	総務課
事業名	男性職員の育児・介護休暇、看護休暇取得の推進											
時期	随時											
対象	職員											

		計画の総合的な推進
施 策	4	計画の推進状況の調査と公表

事業費:単位 千円

具体的事業	26年度実施状況			次年度計画		担当課	
	事業名	内容	事業費	内容	事業費		
84 計画の推進状況を把握するため、関係課への調査を実施し、その主な結果を市民に公表します	事業名	推進状況の調査と公表	0	B	26年度同様	0	地域振興課
	時 期	3月		・調査をし実施状況を振り返り、翌年に向けて課題等を考えること によって職員への啓発になる。 ・公表することにより市民への啓発につながる。			
	対 象	職員・市民					
	平成26年度の推進状況について2月に調査を行い、後日ホームページで公開する。						